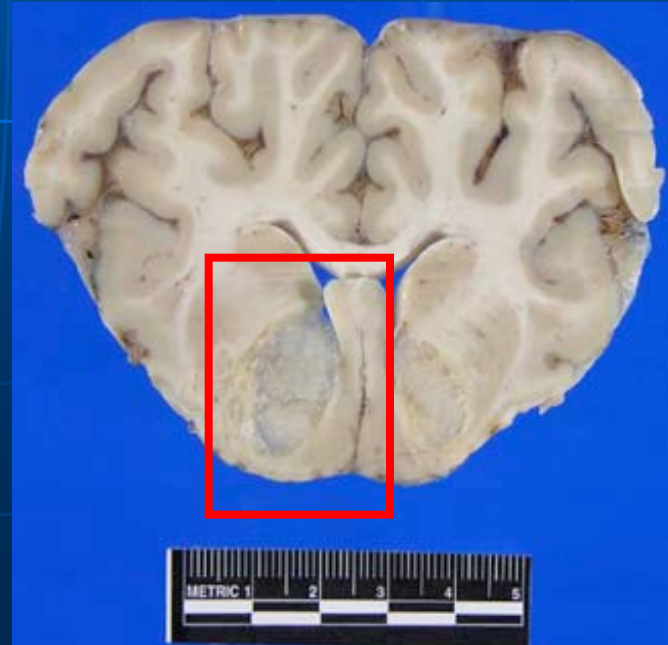


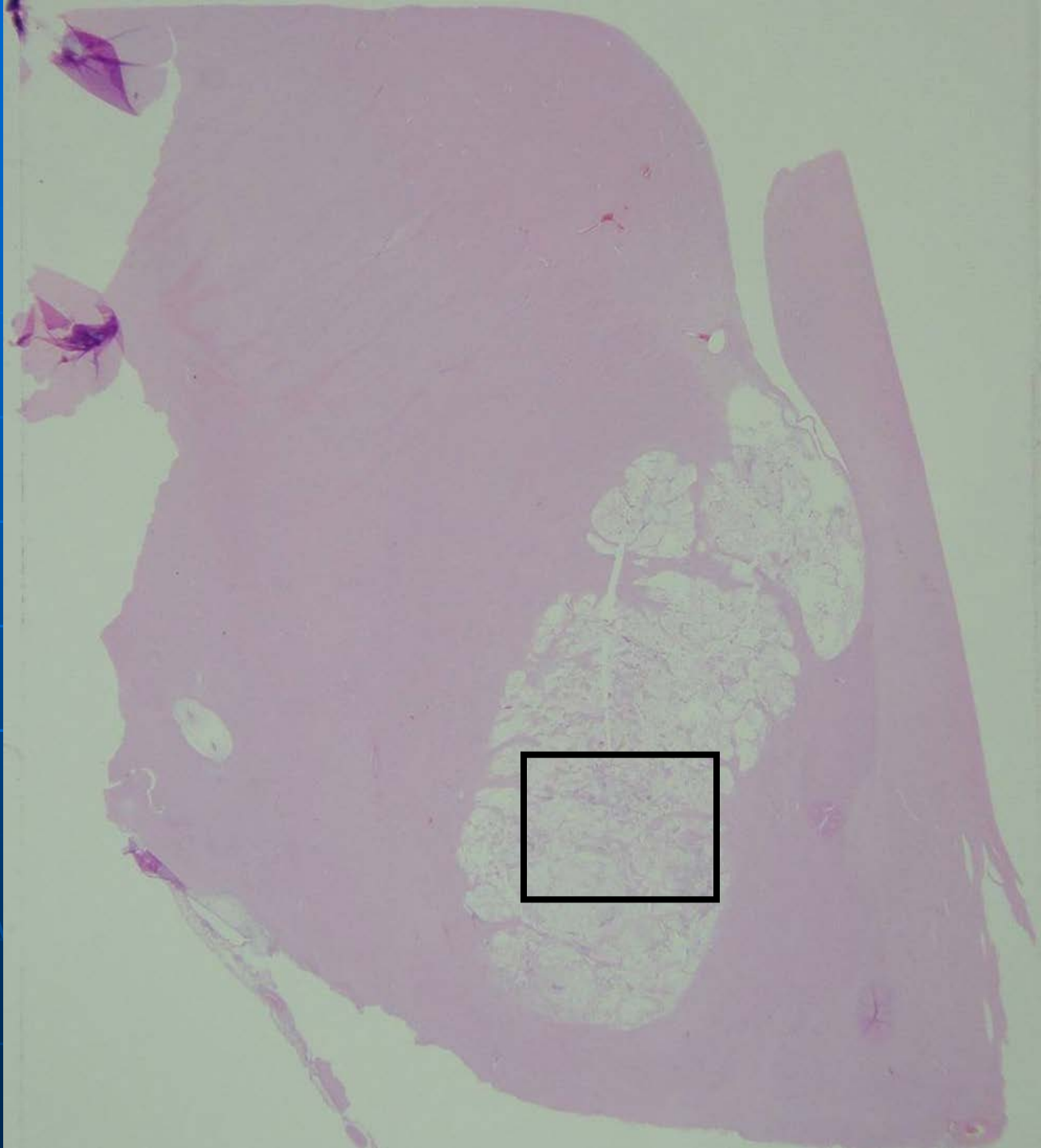
2011-14-2

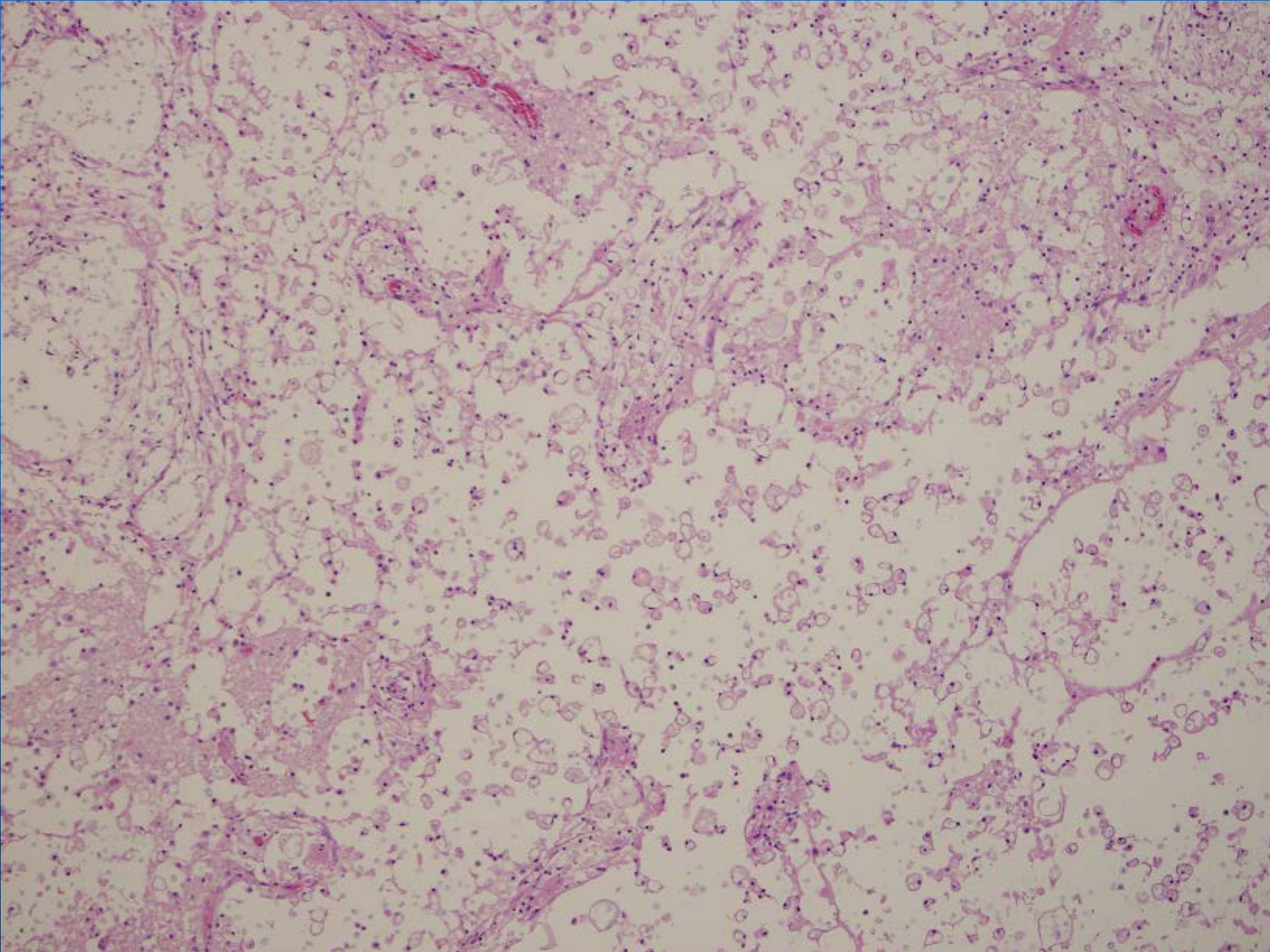
# エルクの脳

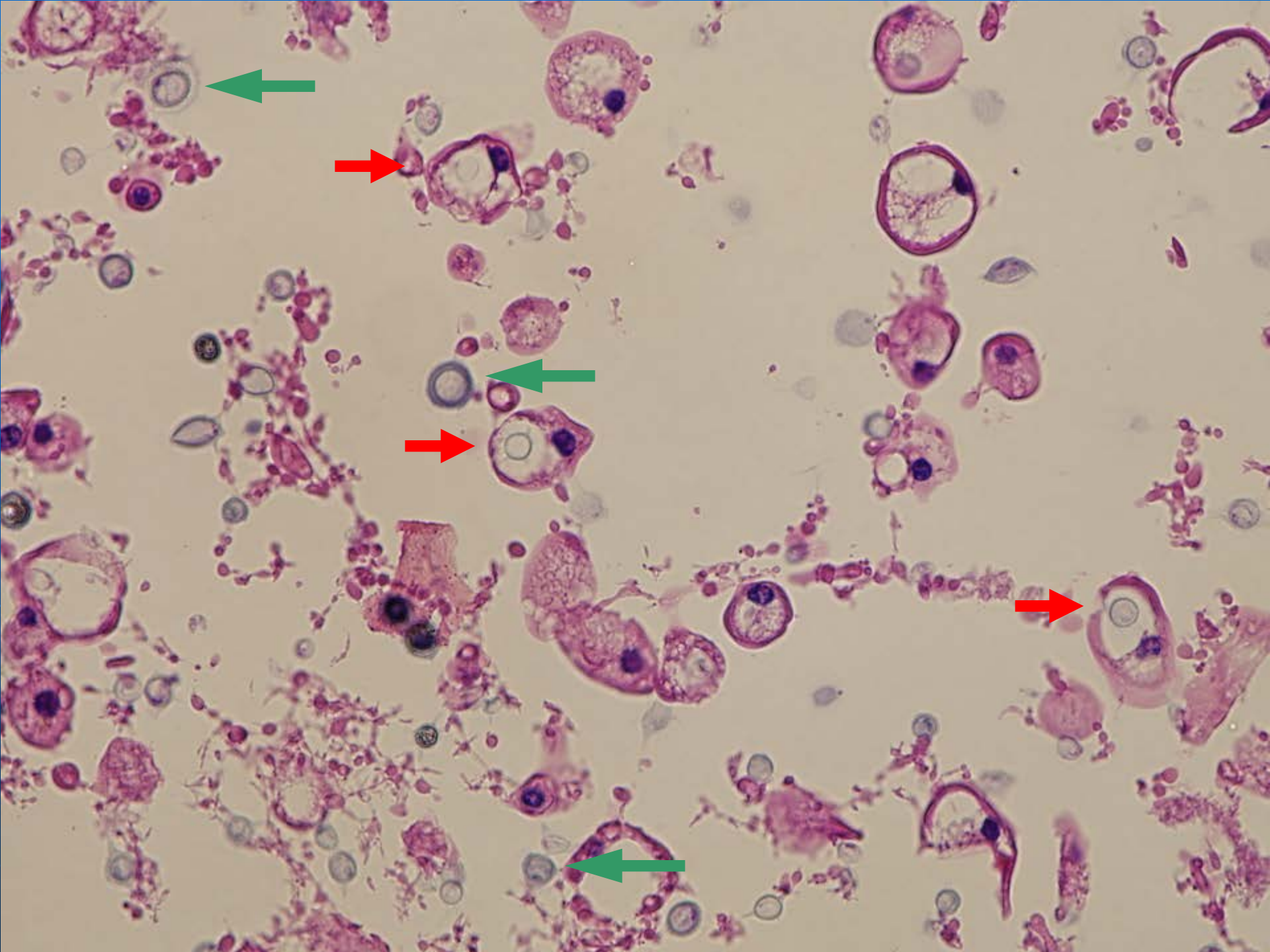
鶏病理  
下久保 奈都美

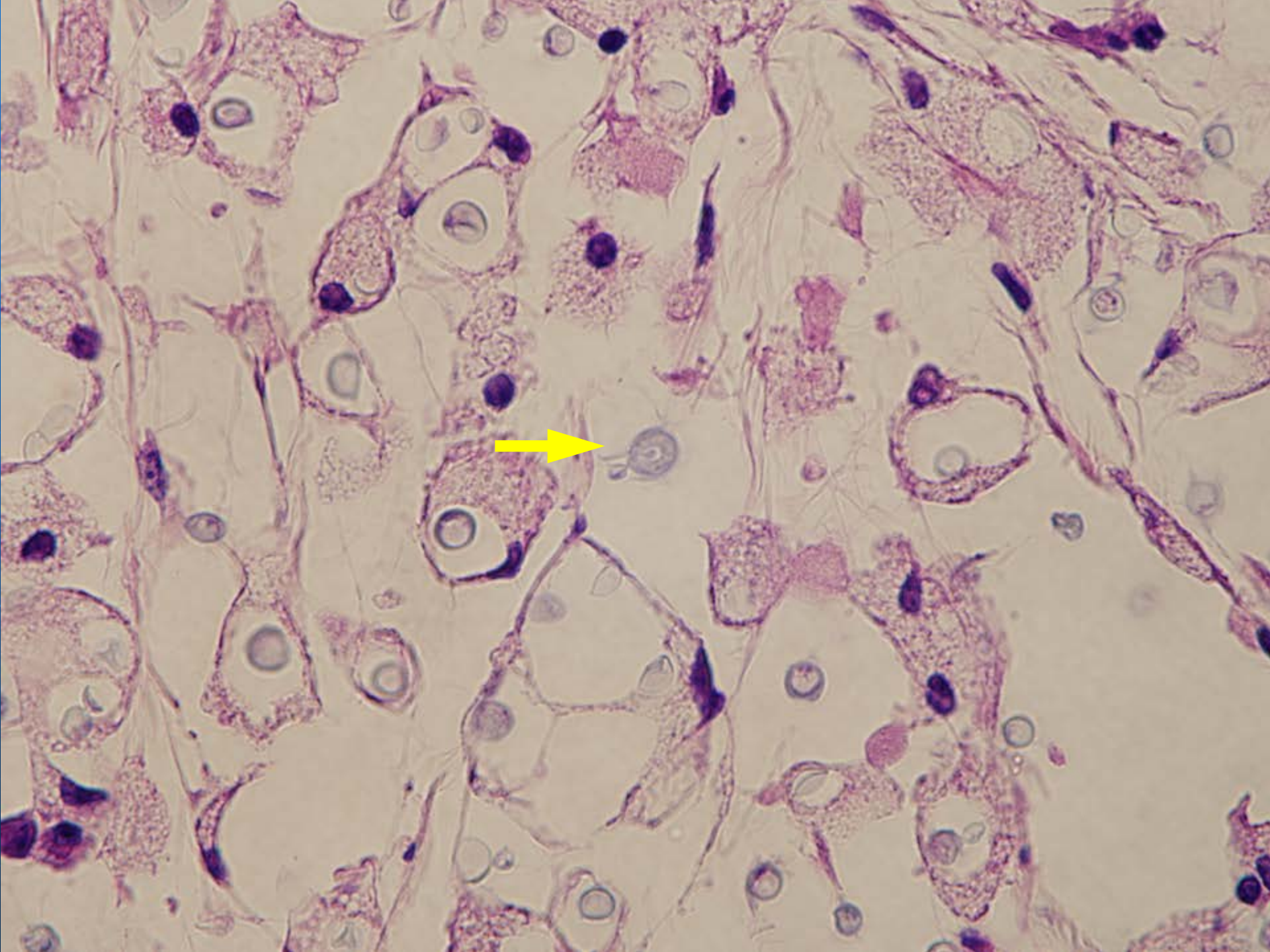
- **提出機関:** Washington Animal Disease Diagnostic Laboratory (WADDL)
- **症例:** エルク(*Cervus canadensis*)、性別不明
- **病歴:** ワシントン州ヤキマ近くで2日間旋回運動. 肝臓と脳が組織病理学検査のため提出.
- **肉眼所見:** 脳: 正中より左側の吻側間脳と尾側の脳幹部に多数の直径0.5–2.0cmの黄色のゼラチン様の病巣. 舌、咽頭後リンパ節、下顎リンパ節、扁桃、咽頭、鼻腔、鼓室胞、肝臓に肉眼病変なし.
- **検査結果:** 検体からのDNA抽出後、塩基配列解析により *Cryptococcus gattii* (GenBank acc#EF081162)の配列と一致

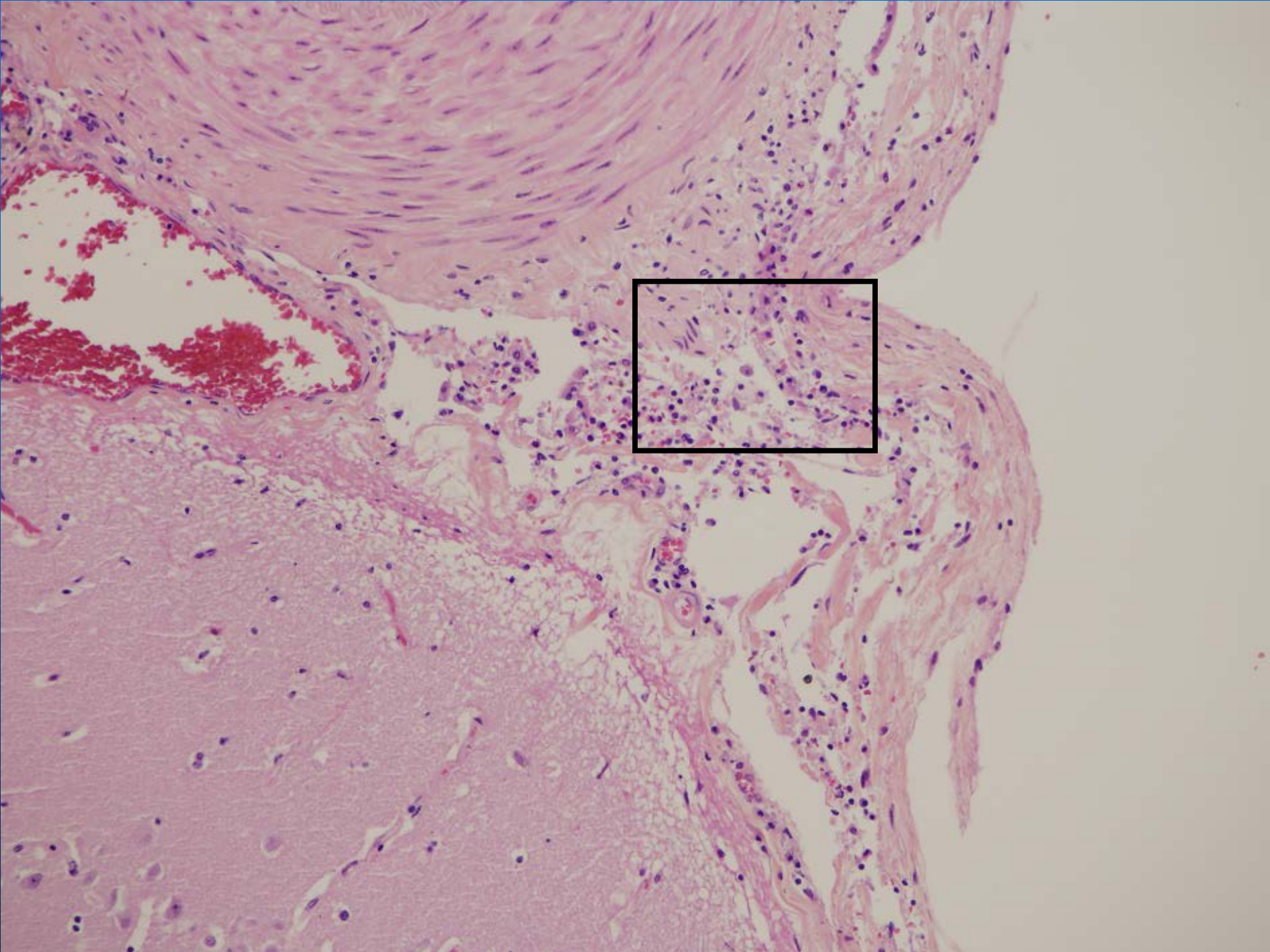


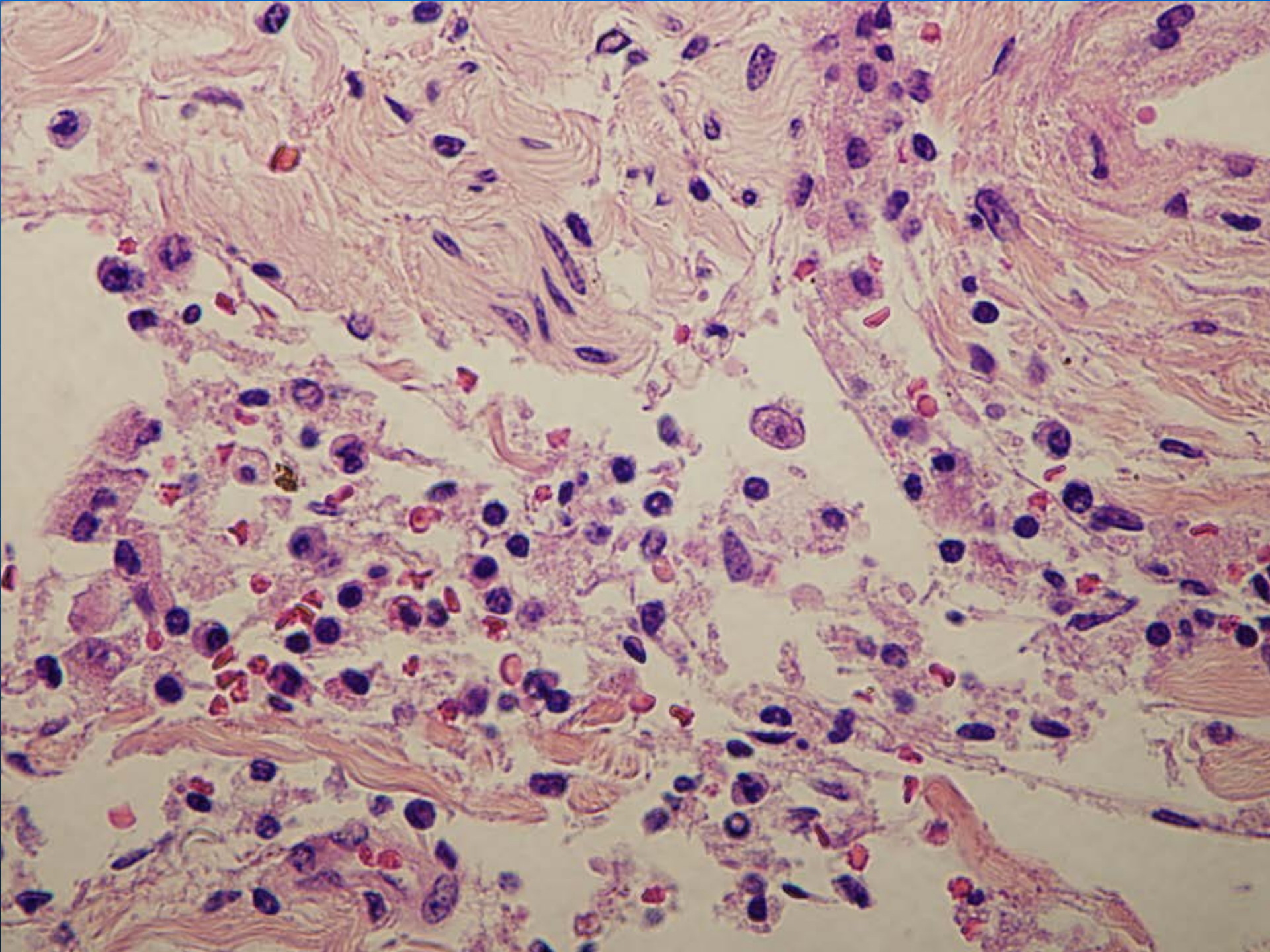


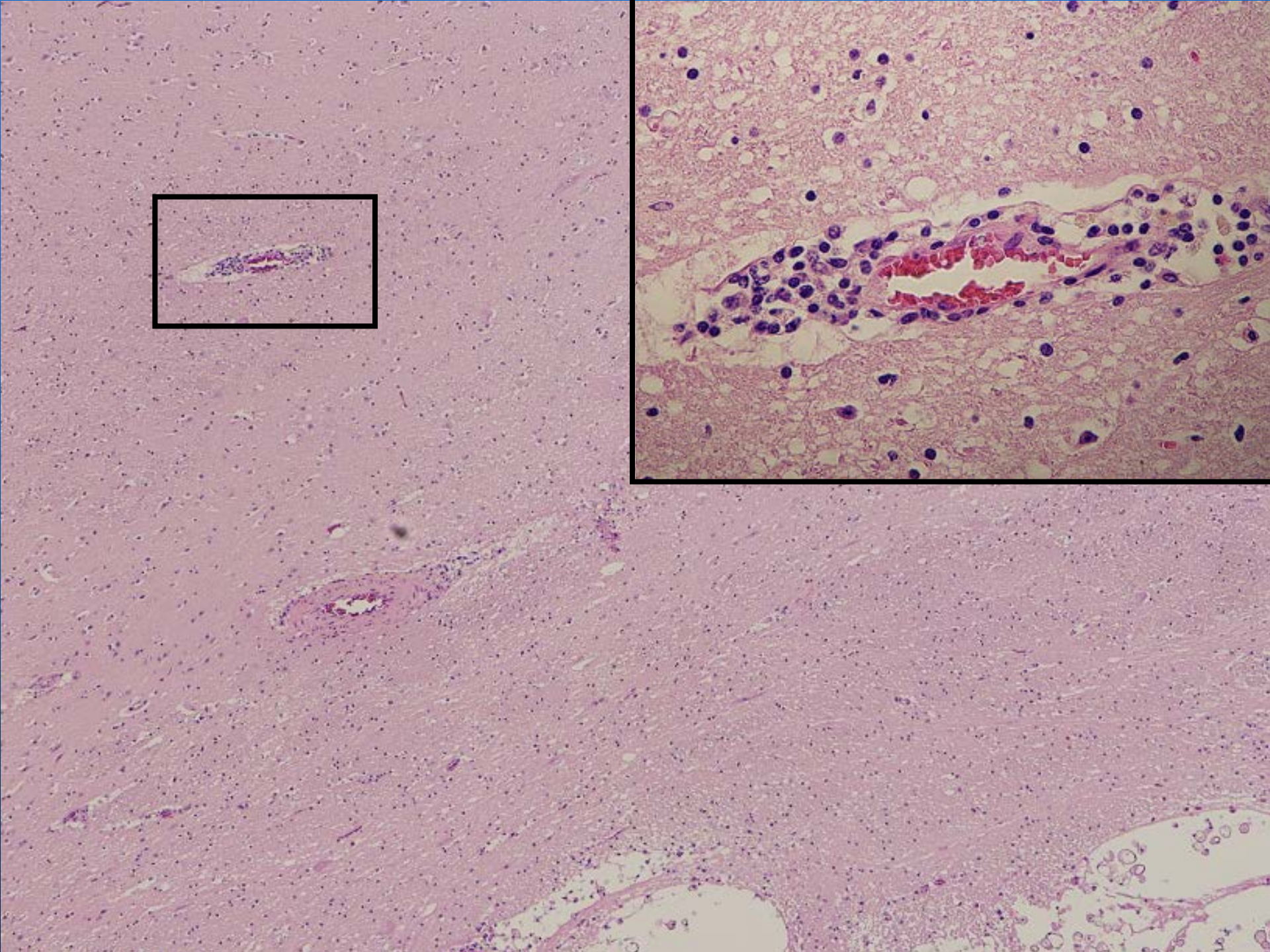














## 提出者の診断

髄膜脳炎、肉芽腫性、多発巣状から融合性、中程度、多数の粘液染色陽性の酵母を伴う(クリプトコッカス属)

Meningoencephalitis, granulomatous, multifocal to coalescing, moderate, with many intralesional carminophilic yeasts (*Cryptococcus* sp.).

## JPCの診断

脳、間脳: 髄膜脳炎、壊死性及び組織球性、多発巣状、重度、*C.gattii*と合致した多数の莢膜をもった酵母を伴う

Brain, diencephalon: Meningoencephalitis, necrotizing and histiocytic, multifocal, severe, with numerous encapsulated yeasts, etiology consistent with *Cryptococcus gattii*.

## コメント

- クリプトコッカス属菌は局所～全身感染し、世界中に分布。円形～卵円形酵母で、出芽によって増殖。莢膜を持ち墨汁法で観察できる。
- 人と動物に病原性を示すものは主に2種(*C.neoformans*, *C.gattii*)

菌名	感染様式	生態	感染部位	血清型	遺伝型
<i>C.neoformans</i>	環境中の感染粒子の吸入	鳥類(特に鳩、鶏)の糞で汚染された土壌	肺、中枢神経系 皮膚、骨、眼等の臓器	A	VN I, II
				AD	VN III
				D	VN IV
<i>C.gattii</i>		オーストラリアの特定種のユーカリの樹木		B	VG I ~ III
				C	VG IV

## 過去の*C.gattii*に関する報告

- 2000年にバンクーバー島で動物から発見。続いてブリティッシュコロンビア州、ワシントン州及びオレゴン州で人と動物から分離。溯及調査では、南カリフォルニア州で*C.gattii*の循環を示唆。
- オーストラリアで分離された遺伝子型はVG I、一方太平洋側北西部からの分離の90%はVG II a、南カリフォルニア州ではVG III。
- 遺伝子型によって、地理的分布が異なる。